



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名 株式会社 マツモトキヨシホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本南海雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 小松栄二

TEL 047-344-5110

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	105,632	1.9	4,258	30.5	4,780	29.1	2,166	—
23年3月期第1四半期	103,638	7.0	3,263	△19.0	3,703	△18.5	△525	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,432百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △643百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	45.36	38.80
23年3月期第1四半期	△10.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	214,621	108,051	49.6
23年3月期	217,661	109,987	49.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 106,411百万円 23年3月期 108,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		10.00	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年3月期 期末配当30円00銭には、記念配当(株式上場20周年記念)10円00銭が含まれております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	220,000	3.4	7,400	3.8	8,300	2.0	3,500	88.2	72.71
通期	450,000	5.1	16,600	7.2	18,400	5.2	8,900	22.1	184.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	53,579,014 株	23年3月期	53,579,014 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	7,088,870 株	23年3月期	5,440,314 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	47,754,174 株	23年3月期1Q	48,132,695 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	12
4. 補足情報	13
売上及び仕入の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)における日本経済の状況は、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により、電力不足など様々な方面に甚大な影響を及ぼし、経済活動は混乱と停滞を余儀なくされました。

ドラッグストア業界におきましても、震災直後の消費自粛ムードは和らいだものの、生活防衛意識の更なる高まりや消費マインドの冷え込みにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは中長期経営計画として、厳しい環境下においても利益を創出できる収益基盤を確立し、持続的な利益成長を実現するため、2つの経営変革(「事業構造の変革」「意識・行動の変革」)への取組みをスタートいたしました。

営業活動におきましては、被災された地域への商品供給を最優先に行うなど、地域に密着した「かかりつけ薬局」として、お客様の信頼に応えるべく各種対応に努めてまいりました。また、専門人材によるカウンセリングサービス体制の強化、節約・価格志向に対応したMKカスタマー(プライベートブランド商品)をはじめとした魅力ある商品展開、地域環境・お客様ニーズを捉えたきめ細かな品揃え、効率のかつ効果的な販売促進活動など、常に新しい付加価値の創造と心を込めたサービスを推進してまいりました。

新規出店に関しましては、関東地域を中心にグループとして28店舗を出店いたしました。更なるお客様ニーズの取込みや環境変化への対応を目的に既存店の改装を26店舗で実施し、スクラップ&ビルドを含め将来業績に貢献の見込めない15店舗を閉鎖いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、1,226店舗となり前連結会計年度末と比較して13店舗増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高1,056億32百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益42億58百万円(同30.5%増)、経常利益47億80百万円(同29.1%増)、四半期純利益21億66百万円(前年同四半期は四半期純損失5億25百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業は、花粉飛散量の増加に伴う関連商品の拡充、天候・温度要件に対応したシーズン商品の早期展開、夏の節電需要を捉えた制汗剤・冷却商材・フェイスーパー等のコーナー化など、お客様ニーズや環境の変化へ即応した店頭及び商品展開により、好調に推移いたしました。また、関東地域を中心とした新規出店、付加価値の高いプライベートブランド商品の拡充など、売上高の底上げに寄与いたしました。

<卸売事業>

卸売事業は、前期におけるF C契約先並びに既存契約先の新規出店に対する商品供給など、堅調に推移しております。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は994億29百万円(前年同期比2.3%増)、卸売事業53億89百万円(同4.1%減)、管理サポート事業8億13百万円(同3.2%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は2,146億21百万円となり、前連結会計年度末に比べて30億39百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が12億98百万円、流動資産「その他」が16億62百万円、それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,065億70百万円となり、前連結会計年度末に比べて11億3百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金が16億円増加したものの、未払法人税等が22億47百万円、賞与引当金が11億82百万円、それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,080億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億35百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純利益21億66百万円を計上したものの、自己株式が29億19百万円増加し、純資産が減少したことや配当金14億44百万円による減少です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月18日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月 4 日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月 4 日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,542	9,243
受取手形及び売掛金	11,643	12,000
商品	57,342	57,351
貯蔵品	1,775	2,004
その他	13,500	11,838
貸倒引当金	△140	△197
流動資産合計	94,665	92,239
固定資産		
有形固定資産		
土地	41,488	41,309
その他	21,417	21,346
有形固定資産合計	62,906	62,656
無形固定資産		
のれん	7,024	6,835
その他	3,115	2,961
無形固定資産合計	10,140	9,796
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,541	35,317
その他	15,408	15,601
貸倒引当金	△999	△990
投資その他の資産合計	49,949	49,928
固定資産合計	122,995	122,382
資産合計	217,661	214,621

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,812	55,046
短期借入金	6,400	8,000
1年内返済予定の長期借入金	372	372
未払法人税等	3,437	1,189
賞与引当金	2,635	1,453
ポイント引当金	2,122	2,292
資産除去債務	4	2
その他	10,669	11,041
流動負債合計	80,454	79,398
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,000	15,000
長期借入金	752	659
退職給付引当金	846	868
資産除去債務	3,338	3,355
その他	7,282	7,288
固定負債合計	27,219	27,171
負債合計	107,673	106,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	80,289	81,009
自己株式	△13,757	△16,677
株主資本合計	109,483	107,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,061	△872
その他の包括利益累計額合計	△1,061	△872
新株予約権	8	6
少数株主持分	1,555	1,633
純資産合計	109,987	108,051
負債純資産合計	217,661	214,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	103,638	105,632
売上原価	75,341	75,876
売上総利益	28,296	29,755
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	273	177
給料及び手当	8,115	8,648
賞与引当金繰入額	1,357	1,408
退職給付費用	330	188
地代家賃	5,503	5,654
その他	9,451	9,419
販売費及び一般管理費合計	25,033	25,497
営業利益	3,263	4,258
営業外収益		
受取利息	52	52
受取配当金	74	120
固定資産受贈益	132	96
発注処理手数料	110	122
持分法による投資利益	—	0
その他	251	168
営業外収益合計	621	560
営業外費用		
支払利息	75	22
貸倒引当金繰入額	48	—
持分法による投資損失	38	—
その他	18	16
営業外費用合計	180	38
経常利益	3,703	4,780

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
特別利益		
固定資産売却益	3	1
貸倒引当金戻入額	44	—
段階取得に係る差益	116	—
その他	1	0
特別利益合計	165	2
特別損失		
固定資産除却損	152	62
減損損失	815	520
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,314	—
災害による損失	—	13
その他	215	107
特別損失合計	3,497	704
税金等調整前四半期純利益	371	4,078
法人税、住民税及び事業税	863	1,081
法人税等調整額	41	757
法人税等合計	904	1,839
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△532	2,238
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△6	72
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△525	2,166

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△532	2, 238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111	193
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△111	193
四半期包括利益	△643	2, 432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△636	2, 354
少数株主に係る四半期包括利益	△7	77

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

① 前第 1 四半期連結累計期間（自平成22年 4 月 1 日 至平成22年 6 月30日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	62,232	34,945	468	5,151	839	103,638	—	103,638
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6	0	68,692	11,935	3,021	83,656	△83,656	—
計	62,239	34,945	69,161	17,087	3,861	187,294	△83,656	103,638
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,845	260	62	△44	329	3,453	△190	3,263

(注) 1. セグメント利益の調整額△190百万円には、のれんの償却額△187百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額815百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で370百万円、「その他小売事業」で331百万円、「管理サポート事業」で134百万円となり、連結決算における消去・調整で△20百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

株式取得により株式会社ラブドラッグスを連結したことや株式会社ミドリ薬品の株式を追加取得したこと等に伴い、新たにのれんが1,410百万円増加しております。

報告セグメントごとの増加額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で21百万円、「その他小売事業」で1,389百万円となっております。

② 当第 1 四半期連結累計期間（自平成23年 4 月 1 日 至平成23年 6 月30日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	63,478	35,951	147	5,242	813	105,632	—	105,632
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7	0	69,801	12,566	2,938	85,314	△85,314	—
計	63,485	35,951	69,948	17,808	3,751	190,946	△85,314	105,632
セグメント利益	2,971	981	153	3	258	4,368	△109	4,258

(注) 1. セグメント利益の調整額△109百万円には、のれんの償却額△187百万円及びセグメント間取引消去77百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額520百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で497百万円、「その他小売事業」で45百万円となり、連結決算における消去・調整で△22百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年 4 月22日開催の取締役会決議に基づき、平成23年 4 月25日から平成23年 6 月30日までの期間に自己株式1,649千株（取得価額の総額2,923百万円）を取得しております。

このほか、単元未満株式の買取による増加 0 千株やストック・オプションの行使による減少 1 千株があった結果、当第 1 四半期連結累計期間において自己株式が2,919百万円増加し、当第 1 四半期連結会計期間末の自己株式が16,677百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

当第 1 四半期連結会計期間
(自 平成23年 4 月 1 日
至 平成23年 6 月30日)

(自己株式の取得状況及び取得の終了)

当社は、平成23年 4 月22日開催の取締役会決議による、会社法第165条第 3 項の規定により読み替えて適用される同法第156条第 1 項の規定に基づく自己株式の取得を下記のとおり実施いたしました。

- ① 株式の取得期間
平成23年 7 月 1 日から平成23年 7 月 4 日
- ② 取得した株式の総数
44,200株
- ③ 株式の取得価額の総額
76百万円

以上により、同取締役会決議に基づく自己株式の取得は終了いたしました。なお、取得した自己株式の累計は下記のとおりであります。

- ① 株式の取得期間
平成23年 4 月25日から平成23年 7 月 4 日
- ② 取得した株式の総数
1,694,100株
- ③ 株式の取得価額の総額
2,999百万円

4. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第 1 四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業	99,429	102.3
卸売事業	5,389	95.9
管理サポート事業	813	96.8
合計	105,632	101.9

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第 1 四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	30,052	105.0
化粧品	36,697	98.8
雑貨	21,330	103.3
食品	11,342	105.5
小計	99,421	102.3
卸売事業	5,277	95.5
合計	104,699	102.0

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第 1 四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	18,567	107.0
化粧品	25,797	94.1
雑貨	16,863	102.6
食品	10,132	107.5
小計	71,360	101.0
卸売事業	3,999	77.5
合計	75,359	99.4

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。